



株式会社サーキュラーペット

## 豊かな地球環境を未来へつなぐ ボトルtoボトルで目指すサーキュラーエコノミーの確立



喜田 代表取締役

株式会社サーキュラーペットは、総合環境ソリューション企業のヴェオリア・ジャパン合同会社、三井物産株式会社、株式会社セブン&アイ・ホールディングスの三社合弁事業として、2020年4月に設立。サーキュラー型のビジネスモデル実現を目的に、2024年3月に竣工しました。

従来、キャップやラベルがついたまま、もしくは飲み残しがあるなどの事業系使用済みPETボトルは品質が低いためリサイクルは困難とされてきましたが、当社はそれらを「ボトルtoボトル」に使用可能なPET樹脂として再生できる高水準の技術を持っています。

### サプライヤー・地域と環境課題を共有 多数のパートナーシップを構築

工場の立地に関しては、取引する飲料メーカーのアドバイスを参考に西日本を選択。交通の利便性や電力・水設備の整備、地域住民への説明会などで熱心にご協力いただいた岡山県の津山市に決定しました。今や地域との連携なくして、環境負荷の低減、脱炭素化の推進は有り得ないと考えています。

原料となる使用済みPETボトルは、西日本の鉄道会社など環境課題を共有するサプライヤーとのパートナーシップを構築した事業者からの調達を含む事業系からの調達を主にしていますが、その他に、日本容器包装リサイクル協会からの購入、津山市など市町村の独自ルートからの調達もあります。

当社は事業系使用済みPETボトルを高品質に再生可能にする技術を保有しており、製造ラインの自動選別機では、選別されたボトルを再度確認するリカバリーラインを設置。他に手選別を2か所設置しています。再生PET樹脂の生産能力は年間2.5万トンです。

サーキュラーペットの合弁三社はそれぞれの役割を担っています。グローバルで環境課題に取り組んでいるヴェオリアは、水や廃棄物、エネルギーの分野でビジネスを展開、プラスチックリサイクル事業を中核の一つとして、世界10か所以上の拠点でPETボトルのリサイクル工場を運営。そこで培われた設備選定や技術・ノウハウの提供を行っています。三井物産は、幅広い事業資産などを活用し、PETボトル原料の確保と製品販売を中心に貢献。セブン&アイ・ホールディングスは、店舗での

使用済みPETボトルの回収、再生PET樹脂をオリジナル商品に使用することで、普及の一端を担っています。

### 進歩と環境保全の両立を目指す

当社の存在意義は、飲料メーカーに使用していただける品質の提供が大前提ですが、継続する課題はあります。まず、日本での再生PET樹脂マーケットは、メーカーによって使用する品質が異なる現状にあること。また、消費者のPETボトルの品質・リサイクルへの理解や意識変化も必要になってくると思います。

本格稼働を経て実感しているのは、納入されている事業系のベールが、当初の想定よりも品質が良いということ。それは、中間処理事業者の努力によるものと考えています。こうした地道な活動に応える意味でも、さらなる意識向上・技術向上に取り組んでまいります。そして未来世代につなげていくため、再生PET樹脂全量の「ボトルtoボトル」を目指し、循環型経済（サーキュラーエコノミー）の確立を推進します。

(取材日：2026年2月25日)

代表取締役 喜田 知克

販売・調達・経営企画本部長 満澤 貴弘

#### 株式会社サーキュラーペット

住所：岡山県津山市くめ字団地50-77

設備稼働：2024年3月

設備能力：再生樹脂生産量（飲料ボトル用）：2.5万トン/年

URL：<https://cpet.co.jp>



処理を待つ保管されるベール



洗浄工程後の事業系PETボトル